

審 議 会 会 議 録 要 旨

会 議 名 称	第3回伊那市総合計画審議会
日 時	平成30年6月28日(木) 午後1時30分 から 3時15分 まで
場 所	伊那市役所 多目的ホール
出 席 者	委員 26名(欠席者2名)、事務局

【議事要旨】

協議事項

- (1) 基本構想修正案の確認について
- (2) 前期基本計画第1章及び第2章の説明について
- (3) その他

○主な意見・質疑

(1)基本構想修正案の確認について

II 基本構想 第2章 将来像

(委員)

主題は考え抜かれた素晴らしい表現だと思うが、「伊那市らしさ」が明確に表現されていないと感じる。副題というかたちで伊那市らしい具体的な表現を入れてはどうか。また、全ての内容を協議した後に、再度将来像だけを検討することはできないか。

(事務局)

副題の必要性や内容については、あまり時間を置かず、協議・決定していくことをお願いしたい。副題が必要であるとすれば、各委員から提案していただき、次回の審議会で協議していただく方法も考えられる。

(委員)

伊那市では50年の森林ビジョンを策定し、ソーシャルフォレストリー都市を目指すとしている。伊那市らしさとして、そうした表現が含まれてもよいのではないか。

(事務局)

基本構想は、多種多様な施策分野を網羅するために、あえて具体的な個別施策に関する表現をしていない。言葉として出ていないから取り組まないということではないので理解いただきたい。

(委員)

- 循環により社会全体が潤うという理念から、「善の巡環」というキャッチフレーズを掲げている企業がある。「循環」は、よい言葉であると思う。
- 基本目標の語尾は、「まちづくり」に統一しなければならないのか。項目によっては「里山づくり」などに置き換えると伊那市らしさを表現できるのではないか。

(事務局)

表現方法にルールがあるわけではないが、基本目標は、「どのようなまちにしていきたいか」というものであり、分かりやすさという点からも「まちづくり」という表現に統一している。

(委員)

- 将来像を議論する手法として、ワールドカフェ方式により、各委員の意見を共有しながら決定していく方法を提案する。
- この将来像を 10 年間伊那市のスローガンとして掲げることを認めるとは言えない気持ちである。市民共通の認識となるものが他にないのか、時間をかけて考えたい。

(事務局)

人口減少という社会全体の課題に対し、今後 10 年間に取り組む全ての施策を網羅する言葉として、「創造」と「循環」の2つに集約できるのではないかと考えているが、意見をいただいている部分なので、より具体的にイメージができるような解説の方法を検討したい。

副題をつけるという方法も一つである。審議会は合議制であるので、検討手法については、委員の合意形成により決めていただきたい。

(会長)

「創造」と「循環」という言葉は、分野を問わず共通する部分があると思う。言葉の選び方としては、非常にプロフェッショナルだと感じた。

将来像のまとめ方としては、意見がある委員は次回の会議までに事務局へ提出し、集約した結果により次回協議することとしたいがいかがか。(異議なし)

(委員)

将来像前文の「歴史・伝統・文化」の言葉の並びであるが、「歴史・文化・伝統」という並びのほうが一般的に多く使われていると思われる。

(事務局)

ご意見のとおり、修正する方向で検討する。

II 基本構想 第3章 施策の大綱

(委員)

観光と農業など、施策の分野を越えて互いに連携して進めていくことが各種振興施策には必要である。行政組織の縦割りによらず、ジャンルを跨ぐ施策を積極的に展開してほしい。

(事務局)

意見のとおりで重要なことだと認識している。一つの例として観光分野を挙げていただいたが、農業のみならず、教育や健康分野との連携も考えられる。付加価値型の観光施策を展開していくことにより、誘客を図る必要があると考えている。

(2) 前期基本計画第1章及び第2章の説明について

(委員)

策定までのスケジュールもあると思うが、一つ一つの内容について、根本的な部分に立ち返って議論することは物理的に難しいということになるか。

(事務局)

時間的な都合もあり、難しい面もあるため、各委員の専門分野を中心に知見の中で意見をいただきたい。

(委員)

自治会の運営などにおいて、女性から非常に有益な意見を聞くことができたという経験がある。「協働・市民参画」という分野においても「男女共同参画」とは違うレベルで、女性参画を拡大する取組や工夫が必要だと思う。

(事務局)

伊那市では「第3次男女共同参画計画」により、各種審議会や地域の役員など、施策・方針の決定過程への女性登用の推進を指標の一つとして掲げている。ご意見のように、計画上内容が重複しても、他の分野で触れるべきところは触れてよいと思うが、いろいろな分野に同じ内容が何度も出てくると読む人にとっては、何が言いたい章なのか分からなくなってしまうという弊害もあるので、記述のバランスは、ある程度必要だと考えている。

(3) その他

(委員)

KPI の設定について、かなり細かな設定をしている指標や一般的にはなじみのない内容を目標値として掲げているものが見受けられる。KPI の設定は、施策を推進するうえで重要なものになるため、市民に直結する分かりやすい目標設定となるように各部署で再度検討していただくと、より計画の精度が高まるのではないかと感じたので、意見として申し上げる。

以上